

例文の、「1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て(セル内で改行)しまいます。」をそれぞれの設定で、比較してみると下表のようになります。

横位置編

	実際の入力		実際の入力
標準	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。	右詰め(インデント) インデント=1	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。
左詰め(インデント) インデント=0	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。	両端揃え	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。
左詰め(インデント) インデント=1	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。	均等割り付け(インデント) インデント=1	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。

文字の制御で、「折り返して全体を表示する」にチェックが入っています。

縦位置編

	実際の入力		実際の入力
上詰め	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。	両端揃え	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。
中央詰め	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。	均等割り付け	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。
下詰め	1セルに長い文章を入力するとどうしてもはみ出て しまいます。		

文字の制御で、「折り返して全体を表示する」にチェックが入っています。

インデントとは?

「インデント」というのは、「書き出し位置」「字下げ」とも呼ばれており、設定した値の分だけ文字をずらしてくれる機能です。毎度、行頭の空白をスペースで入力する手間が省けるだけでなく、体裁が不揃いになるリスクも少ないです。